

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		会計事務費〔審査事務〕										
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	会計管理費	事業番号	1	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		会計			課			審査		係	課長名	當摩 弘
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 ー 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)		122		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	①歳入伝票の確認・審査 ②歳出伝票の確認・審査				①調定伝票の枚数 ②支出命令票の枚数							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①歳入伝票の確認・審査を適切に行う。 ②歳出伝票の確認・審査を適切に行う。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①適正な調定伝票の枚数 ②適正な支出命令票の枚数							
	③ そのために何をしましたか。 ①②歳入・歳出手続を法令等に照らし確認・審査した。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 審査件数							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	件	①3,383 ②40,442	①3,386 ②39,093	①3,087 ②33,751						
	成果指標	②の数値	件	①3,383 ②40,442	①3,386 ②39,093	①3,087 ②33,751						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
3 経費	活動指標		③の数値	件	①3,383 ②40,442	①3,386 ②39,093	①3,087 ②33,751					
	事業費(実績)		円		0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円									
		特定財源	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	1.0						
		所要人数(再任用)	人			1.0						
職員人件費(再任用以外)		円	16,488,000	16,620,000	8,380,000							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	16,488,000	16,620,000	8,380,000							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 地方自治法で定められている事務である。開始時期は不明。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 主管課における起票者及び点検者の知識の向上が図られるよう、業務の中で具体的な助言を行い、主管課での内容の共有を行ってもらう。											